

令和5年度 小ヶ倉中学校学力向上プラン

学校教育目標 「心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成」

研究テーマ 「主体的に学ぶ生徒の育成に向けて」

～「確かな学力」の向上を目指した GIGA の活用と授業改善～

< 学力向上のための学校の取組 >

- ①GIGA 班・授業改善班に分かれ全職員での研究、実践
- ②「めあて」と「まとめ」が生徒の心に響く授業
- ③生徒が主体的に考え、学び合い活動ができる授業
- ④発問の工夫
- ⑤基本的学習規律の徹底（立腰含む）
- ⑥T T 指導（少人数指導を含む）等による支援
- ⑦基礎基本の徹底
- ⑧I C T 機器の効果的活用
- ⑨「あじさいスタンダード」の有効活用
- ⑩県・市の学力調査結果の検証及び活用
- ⑪Qubena の活用
- ⑫「学力向上プラン」の共通理解

PLAN

- ・学校経営方針の周知
- ・学力向上プラン作成
- ・学力向上カレンダー作成
- ・年間指導計画の作成

DO

- ・学力向上プランに基づく実践
- ・授業改善に向けた教職員の共通理解による指導の実践

ACT

- ・成果及び課題の確認
- ・学力向上プランの見直しと改善
- ・教育課程の工夫と改善
- ・校内研修の見直しと改善

CHECK

- ・学力調査等による生徒の実態把握、分析
- ・学校評価アンケート結果の分析
- ・各教科の実用的な運用

★ 学力向上を支える生徒の実践

- ①授業開始時の「立腰」の実践（学習規律）
- ②ワンストップあいさつの実践
- ③学習委員会による授業態度コンテストの実施
テスト前の学習会計画、実施
- ④図書委員会による読書週間活動

★ 学力向上を支える家庭との連携

- ①家庭学習状況の把握及び連携
- ②学校公開等の積極的な周知
- ③学力調査結果等の情報共有

★ 学力向上を支える小学校との連携

- ①小中連携による学習規律（立腰）の共通実践
- ②小中連携による授業づくりの交流

< 本校の学力課題 >

★学力調査結果から(R5)

- | | |
|-------|----------------------------|
| 1年 国語 | 漢字、文法、語句の正しい知識・理解 |
| 数学 | 分数、単位量当たりの百分率を求める力 |
| 2年 国語 | 書く力 |
| 数学 | グラフの読み取り、説明する力 |
| 3年 国語 | 文法や漢字、語彙に関する力
自分の考えを話す力 |
| 数学 | 知識を活用して考える力 |
| 英語 | 情報を整理し、聞き取る力 |

< 課題改善のための学習取組 >

- | | |
|-------|--|
| 1年 国語 | 漢字テストの継続、語句の意味調べとその語句を用いた文章づくりを取り入れる。 |
| 数学 | 思考力・判断力・表現力を問う問題を各単元の中に計画的に位置付ける。 |
| 2年 国語 | 教材ごとに書く取り組みを設ける。 |
| 数学 | グラフを読み取って説明する活動、データの特徴を捉え、説明する活動を増やす。 |
| 3年 国語 | 文法事項、漢字、語彙に関する反復学習をする。
目的をもって聞く活動、自分の考えを発表する機会を増やす。 |
| 数学 | 知識を活用する問題を取り入れ、自分の考えを書く、発表する活動を増やす。 |
| 英語 | 耳からの情報を取捨選択しながらメモを取ることで、要点や必用な情報を聞き取る活動を増やす。 |

< 学力向上のための具体的な数値目標 >

- ①学力調査結果が市及び県平均を上回る
- ②学校評価「自分に必要な学習を自覚し、計画的に取り組む」肯定的割合80%以上
- ③学校評価「わかりやすく、ためになる授業」の肯定割合95%以上
- ④学校評価「平日2時間以上の学習」の肯定割合70%以上
- ⑤学校評価「ICTの活用」の肯定割合80%以上
- ⑥学校評価「ふるさとが好きである」の肯定割合90%以上

★質問紙(3年生対象)から見えてきた課題(R5)

- ・「平日2時間以上学習している」23.2%
- ・「土日の平均学習時間 0～1時間未満」37.5%
- ・「1日当たりの読書時間 0～30分未満」75%

< 課題改善のための全校での取り組み >

- ・自分の気持ちや意見を書き出し、発表につなげる授業
- ・授業、家庭学習内でキュビナの活用促進
- ・テスト計画、日々の学習計画の立て方の工夫